

FD

プログラム番号 2801F

理工系の講義形式授業の中で学生を輝かせるひと工夫

■講師



榊原 暢久(芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター／工学部 教授)
北海道教育大学(札幌校)小学校教員養成課程卒業。北海道大学大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得退学。博士(理学)。旭川工業高等専門学校助手・助教授、茨城大学工学部講師を経て、2007年度より芝浦工業大学工学部准教授。2009年4月より現職。ファカルティ・ディベロッパー。日本高等教育開発協会、大学教育学会、日本数学教育学会等所属。専門は高等教育開発(特に、理工系数学基礎教育や教員支援(FD)プログラム)。



吉田 博(徳島大学 総合教育センター 講師)
愛媛大学理学部数理科学科卒業。同大学院理工学研究科数理学専攻博士前期課程修了。2009年度から徳島大学で全学FDプログラムの企画・運営に携わる。また、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)のFD担当として、SPOD-FDプログラムの企画立案、調査研究に携わる。

■プログラム概要

理工系の専門的知識の習得や研究を行っていく上で基盤となるのは、各学科の必須科目等で学ぶ基礎知識です。基礎知識を習得するための基礎科目の授業は、大人数、講義形式によって行われることが多くあります。本プログラムでは、このような理工系基礎科目における講義形式授業の中で、学生の主体的な学びや授業外学習を促進することに繋がるひと工夫を取り扱います。

はじめに、授業で学生に達成してほしい到達目標を設定し、その目標到達を測定する評価方法について考えます。続いて、具体的な授業の方法や課題について考えていきます。プログラムは講義と参加者同士のワークを行いながら進めていきます。参加者のみなさんがアイデアを持ち寄ることで、自身の授業における課題解決のヒントや、今後の新しい実践のヒントが見つかることを期待しています。なお、本プログラムは、2013年度の同プログラムを大幅にブラッシュアップさせ、内容を変更しています。

■主な受講対象

- ・自身の理工系の講義形式授業の中で実施できる、広い意味でのアクティブラーニングの手法を知りたい教員
- ・自身の理工系の講義形式授業の中で行っているアクティブラーニングの取り組みを他の教員と共有し、改善のヒントを得たい教員
- ・自身の理工系の講義形式授業を振り返り、基礎的な再構成の方法を知りたい教員

■本プログラムの到達目標

1. 理工系基礎科目における講義形式授業の基礎的なデザイン方法を修得することができる
2. 理工系基礎科目における自身の講義形式授業をふり返ることができる
3. 理工系基礎科目における講義形式授業の取り組みについて他者と話し合うことで、自身の授業における課題解決のヒントを得ることができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木)10:00~12:00
会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育3号館 335番教室
定 員 : 30名